

平成29年度行政評価 施策評価結果一覧

2次評価

No.	施策名	事務・事業数	施策担当課	達成度	施策方針	2次評価コメント
1	自然環境の保全	8	市民生活課	○	維持	自治会や学校、企業などのボランティアによる環境美化活動や環境保全の啓発活動が活発に行われている反面、苦情件数からみると不法投棄の件数は減少傾向にあるとは言い難い。そのため、今後とも引き続き対策を講じていく必要がある。また、松くい虫の被害は防除事業の継続的な実施により沈静化に向っており、植林事業とも併せ財源の確保に努めながら継続する。
2	安全・安心な生活環境の確保	6	市民生活課	△	維持	安心・安全な生活環境を確保するため、悪臭対策や河川の水質基準のクリアなど、まだまだ課題もある。個人や事業所などへ更に改善を呼びかけるとともに、向上を図っていく必要がある。
3	循環型社会の確立とエコライフの推進	3	市民生活課	△	拡充	ごみの減量化・資源化を促すPR活動を進めるとともに、新たな分別や回収の方法も検討しながら取組を更に進める。
4	有機資源の循環による地域社会の構築	2	農林水産課	○	維持	バイオマスの利活用や資源循環型地域社会の構築を推進しながら、老朽化が著しい堆肥センターなどの施設の費用対効果を検証し、今後の施設の運営方針を検討する。
5	学校教育環境の充実	4	学校教育課	○	維持	必要な耐震化対策を計画通りに進めるとともに、学校の適正規模やセンター方式学校給食の市内全小中学校への導入も検討していく。
6	地域の食材を提供する学校給食	4	学校教育課	◎	維持	学校教育活動の一環として実施される給食の役割の重要性を考慮し、今後とも充実を図りながら「地産地消」・「食育」の推進を図る。
7	明日を担う青少年の健全育成	20	学校教育課	○	維持	胎内市教育振興基本計画に基づき、学校・家庭・地域との協働により、不登校の未然防止や児童・生徒一人一人が「わかる・できる」を実感できるよう目標の達成に向けて取り組む。
9	郷土の歴史と文化の保存・継承	7	生涯学習課	○	維持	専門性を有する人員の確保・育成を進めるとともに、歴史・文化資源を保存しながら地域の活性化につなげる取組を継続する。利用状況を考慮しながら、施設の運営方法を検討する必要がある。
10	国際交流の推進	3	総合政策課	○	維持	子どもの国際理解を育む本市の特徴的な施策である。英会話教室受講者補助金・国際理解教育推進事業とも費用対効果を検証し、経費について吟味した上で実施する。

平成29年度行政評価 施策評価結果一覧

No.	施策名	事務・事業数	施策担当課	達成度	施策方針	2次評価コメント
11	文化芸術活動の振興	6	生涯学習課	○	維持	市美術展は他のイベントと同時開催を行ったことで相乗効果が得られた。老朽化している施設もあるため維持管理経費の増加が見込まれるが、財源確保した上で計画的に改修を行っていく。
12	生涯学習事業の推進	7	生涯学習課	△	維持	市民ニーズを的確に把握し、講座等の事業を行っていく。老朽化している施設もあるため維持管理経費の増加が見込まれるが、財源確保した上で計画的に改修を行っていく。
13	生涯スポーツ事業の推進	16	生涯学習課	○	維持	市民の健康増進を進める上で、スポーツをする人としらない人に分かれる二極化の傾向をどう解決するか検討する。老朽化した施設は公共施設等総合管理計画に沿って除却を進めていく。
14	快適生活をサポートする道路管理	5	地域整備課	○	維持	必要性及び維持管理コストを十分吟味し、新規整備は抑制することを検討する。なお、インフラ全体の老朽化を考慮して、中長期的な視点での計画的な維持・補修を検討すること。
15	居住地域の環境整備	4	地域整備課	◎	維持	河川環境の雑木や雨水の排水施設等の適正な維持管理に努め、市民の安心・安全な暮らしのためにあらゆる面での防災対策を進める。
16	公共交通網の利便性向上	6	総合政策課	○	維持	施策の中心となる中条駅西口整備を着実に推進することと併せて、生活交通確保についても市民のニーズに応えられるよう推進を図る。
17	情報通信基盤の整備	2	総合政策課	○	維持	セキュリティ対策の強化を重点的に行い、システムの安定稼働を図る。
18	緑の居住空間整備	6	地域整備課	○	維持	定住促進の観点から、住宅リフォーム補助事業の補助要綱を見直す。上下水道について、長期的視点に立って施設の営繕を行っていく必要がある。
19	水辺や山麓に憩いの場の整備	2	地域整備課	◎	維持	長寿命化計画に基づいた公園の安全対策を進めるとともに、市民と連携・協働した環境整備を推進する。
20	居住の安定を図る公営住宅整備	4	地域整備課	◎	維持	長寿命化計画に基づき公営住宅の適正な管理を行う。また、高額滞納者に対しては滞納整理をより積極的に行う必要がある。

平成29年度行政評価 施策評価結果一覧

No.	施策名	事務・事業数	施策担当課	達成度	施策方針	2次評価コメント
21	高齢者福祉の充実	21	福祉介護課	◎	維持	事業の精査及び受益者負担の在り方等について必要な見直しを図りながら推進していく。地域での支え合い活動については市内全域で定着するよう、体制づくりの支援を継続する。
22	障害福祉の充実	12	福祉介護課	◎	維持	構成する事業において法令の義務付けの無いものについては、実施の意義や内容を精査しながら、サービスの充実について県の支援等を含めて検討し推進を図る。
23	地域で支える介護予防活動の推進	2	福祉介護課	◎	維持	介護予防は健康寿命を延伸する大切な施策であり、コストの削減や事業の効率化を考慮し、市民協働を一層進めながら推進を図る。
24	生活支援体制の推進	1	福祉介護課	○	維持	対象世帯の高齢化が進む中、適正な生活保護の実施と関係機関や地域との連携を図りながら対象世帯の自立支援を行う。
25	子育て支援事業の推進	16	こども支援課	○	拡充	費用対効果を十分考慮しながら、子育て世代包括支援センターの設置等、子育て施策の拡充を図る。
26	健康づくりの推進	19	健康づくり課	○	維持	疾病の早期発見・早期治療を推進するとともに、住民主体の健康づくりの取組支援を継続する。また、にこ楽・胎内の運営方法について検討する。
27	介護予防で、はつらつ80推進事業	4	福祉介護課	◎	維持	高齢者の運動機能の低下を予防するためにも、的確な実態の把握に努めるとともに多くの対象者に効果的な啓発・ケアがなされるよう推進していく。
28	高齢者の尊厳と自立を支える介護体制の確立	12	福祉介護課	◎	維持	高齢者の尊厳を確保しながら、認知症予防などの進展により拡大する高齢福祉ニーズに対応するため、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進める。
29	医療関係機関との連携	5	健康づくり課	○	維持	地域医療を守ることは将来的にも非常に重要な課題であり、関係機関と連携を図りながら確保に努める。なお、黒川診療所の今後の運営の方向性を検討し、方針を決定する。
30	防災対策	7	総務課	○	維持	自主防災組織の組織率は高まってきているが、防災士のレベルアップやハザードマップの普及・浸透など、実際の災害時を想定した実働の場面で力を発揮できるよう訓練や取組を継続する。

平成29年度行政評価 施策評価結果一覧

No.	施策名	事務・事業数	施策担当課	達成度	施策方針	2次評価コメント
31	防犯対策	1	総務課	◎	維持	LED防犯灯の普及による犯罪が起きにくい環境の整備と防犯組合連合会等との連携により、犯罪件数の減少に努める。
32	交通安全対策	3	総務課	○	維持	高齢者の交通安全確保対策が重要度を増していることから、啓発・施設整備等の諸施策を地域全体で総合的に推進する。
33	人権意識の高揚	2	総務課	○	維持	あらゆる差別の撤廃に向け、関係団体等と連携した取組を行う。また、部落差別解消法が施行されたことに伴い、その法理念に基づいて事業を進める。
34	男女共同参画体制の推進	1	総務課	△	維持	男女共同参画の理念を地域の中でより多くの人々が共有できるよう、啓発方法を工夫しながら推進を図る。
35	農業基盤の整備	4	農林水産課	◎	維持	指標における達成率は高いが、今後とも継続して農業経営における諸問題の解決に努めるとともに、国・県等の制度を活用しながら戦略的に進める。生産の基盤となる大規模ほ場の整備は、自治体の負担金を考慮しつつ、区域を調整しながら計画的に事業を推進する。
36	工場誘致の推進	1	商工観光課	◎	維持	企業立地数の目標を達成したが、今後とも産業振興と雇用創出の面からも引き続き誘致を推進する。
38	観光の拠点化の推進	14	商工観光課	△	維持	各施設とも運営の改善を図っていく必要があるが、財源に限られる中、選択と集中の方針の下で個々の事業自体の必要性や改善方法についても検討していく。
39	イベントによる観光振興	1	商工観光課	△	維持	観光協会や関係民間団体との連携を図りながら、胎内ならではの魅力を活かしたイベントを計画していく。
40	観光宣伝及び誘客の企画	5	商工観光課	△	維持	広域連携や市民・民間事業者との協働も図りながら、効果的な宣伝・企画を実施する。ただし、経費については吟味し圧縮に努める。

平成29年度行政評価 施策評価結果一覧

No.	施策名	事務・事業数	施策担当課	達成度	施策方針	2次評価コメント
41	雇用の促進と安定化	1	商工観光課	○	維持	市内企業と求職者とのマッチングの機会を増やす取組を進める。
42	観光事業と地域産業の連携	1	商工観光課	○	維持	イベント等を通じた特産品のPRや、販路拡大の取組支援を行っていく。
43	商業の活性化	3	商工観光課	△	維持	企業の経営発展の取組をより効果的に促進できるような事業を検討する。
44	新産業の育成・支援	1	商工観光課	○	維持	新産業の育成支援につながる様々なツールを活用して引き続き推進する。
45	グリーンツーリズムの推進	2	農林水産課	◎	維持	指標の目標値は達成したが、農村振興にもたらす効果を検証し、将来の方向性を見定める必要がある。
46	地域資源を活かした農林業の振興	26	農林水産課	○	維持	農業全体の付加価値を高めるべく各事業の推進を図る。また、個々の事業課題については早めに方向性を打ち出すよう検討を進める。
47	時代に即応した組織機構の構築	3	総務課	○	継続	財政状況を考慮しながら組織機構のスリム化に努める。また、第2次総合計画に示されている市民協働の基本方針に沿った組織運営を進めていく。
48	コミュニティ組織の育成	3	総合政策課	○	維持	自治会や市民活動団体の活動に対する補助金交付はほぼ要望どおり交付されている。今後は、少子高齢化のなかでコミュニティの存続や活性化を進めていくための様々な支援に注力し多角的に行っていく必要がある。
49	効果・効率的行政運営	0	総合政策課	○	維持	第2次総合計画に基づいた新たな評価システムを構築し、行政評価の実効性や機能を強化しながら、選択と集中の理念のもと事務事業の改善に努めるとともに、予算編成に活用していく。

平成29年度行政評価 施策評価結果一覧

No.	施策名	事務・事業数	施策担当課	達成度	施策方針	2次評価コメント
50	財政の健全性の確保	0	財政課	○	継続	普通交付税の縮減期間であり、財政健全化計画及び行政評価による事業の選択と集中を考慮しながら、これに対応する財政運営を行う。また、新たな財源の確保としてクラウドファンディング、PPP、PFIなどを具体的な方策として検討する。
51	市税の適正な賦課と徴収	2	税務課	◎	維持	課税客体を的確に把握するとともに、チェック機能を強化して適正に事務が執り行われるよう努め、引き続き適切な賦課と徴収に努めながら収納率の向上を図る。
52	人材の育成と活用	3	総務課	○	維持	人事評価制度の熟度を上げるとともに、状況に応じて研修を行いながら効果的な人材育成を行う。また、職員の意欲や持てる知識が生かされるような人員配置を行う。
53	広報広聴機能の充実	1	総合政策課	○	拡充	広報・ホームページのコンテンツ整備や見やすさの向上を図る。また、タウンミーティングなど、広聴の機会や機能を拡充させる。
54	市民と行政の協働	0	総合政策課	○	拡充	市民と行政がともに地域課題に対し持てる力を発揮できるよう、さらに協働を推進するための取組を充実させる。

【達成度】

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや未達成 ▲：未達成

平成29年度行政評価 施策評価結果一覧

外部評価

No.	施策名	事務・事業数	施策担当課	達成度	施策方針	外部評価コメント
11	文化芸術活動の振興	6	生涯学習課	○	維持	<ul style="list-style-type: none"> ・施設が老朽化しているため、公民館と図書館が一緒になった生涯学習施設が整備されるといい。それによって利用が増えるものと思う。 ・図書館の職員の対応がとてもいい。気持ちよく利用している。 ・幼児や高齢者も本に親しめるよう、図書館の地域への巡回が課題ではないか。 ・情報を発信するツールとして、フェイスブックとホームページの両方を活用したほうがいい。 ・産業文化会館で開催する催しについては、集客のため情報発信の改善が必要。 ・美術展などでアンケートを実施して、開催内容の改善につなげてもらいたい。
12	生涯学習事業の推進	7	生涯学習課	△	維持	
23	地域で支える介護予防活動の推進	2	福祉介護課	◎	維持	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での介護予防と支え合い体制の確立は待ったなしの重要な課題であるが、認識や取組の地域間格差が大きい。取組が進んでいない集落に対して、具体的にどういう支援をしていくのかということについて真剣に取り組む必要がある。 ・地域の拠点づくりにおいて、専門性を持った職員にもっと地域に入ってもらいたい。 ・こまめに地域を回って、介護保険や介護予防などの活動の話を地道に説明していくことが必要ではないか。 ・胎内市としての主体性を持った施策をどう推進していけるかということが大事。 ・地域包括支援センターの認知度を上げるPRを徹底する必要がある。 ・介護予防の担い手不足解消のために分析と合わせた対策を行い、進化した取組となることを期待する。 ・各地区の役員・リーダー等の研修、交流、情報交換等により、活動の幅を広げることが有効かと思う。
27	介護予防で、はつらつ80推進事業	4	福祉介護課	◎	維持	
28	高齢者の尊厳と自立を支える介護体制の確立	12	福祉介護課	◎	維持	